



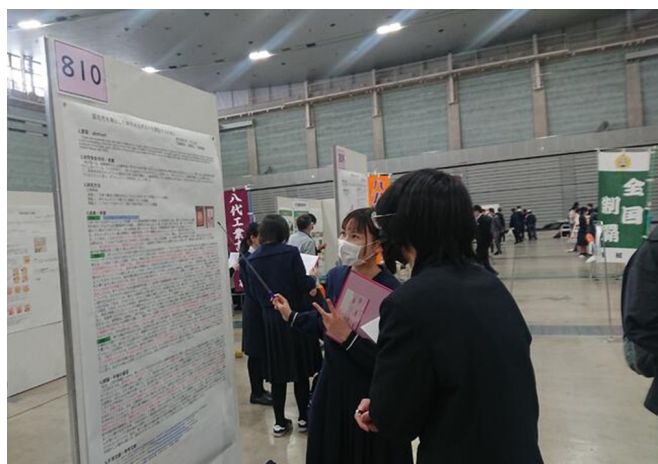
3月4日(土)、『第1回 KSH全体発表会 ～県立高校 学びの祭典～』が開催

発表数:ポスター発表23件

ステージ発表発表1件

※見学者も含めて約51名が参加

グランメッセ熊本で行われた第1回KSH(熊本スーパーハイスクール)発表会に参加しました。これまでの研究の成果を初めて発表する生徒も多く、緊張している様子でしたが、高校生以外にも、一般の方や大学の先生方から様々なご助言をいただいたり、他校の発表に刺激を受けたりするなど、非常にいい経験となりました。



(ポスターセッションを行う様子)

大学出前授業を実施しました。

3月6日(月)に東海大学文理融合学部人間情報工学科教授村上祐治先生をお招きして、プログラミング講座を実施しました。講義の中で、プログラミングの考え方やコーディングのポイントを解説していただき、「数学や物理などの知識が合体し、プログラミングに活かされる。授業で学んでいる様々なことを大事にしてほしい。」とお話をいただきました。



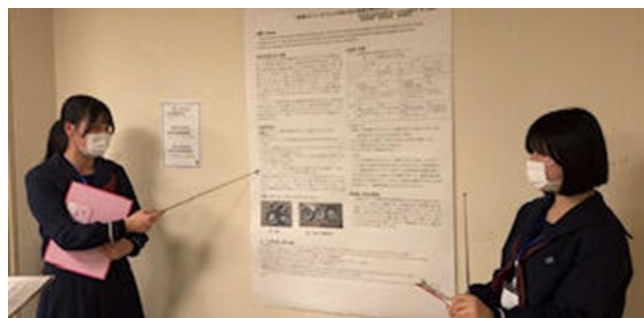
(東海大学文理融合学部人間情報工学科教授 令和4年度鹿本高校SSH運営指導委員 村上 祐治 様)

第8回高校生国際シンポジウム

2月21日(火)～22日(水)に鹿児島県宝山ホールで行われました。日頃から取り組んでいる課題研究レポートを全国から多くの高校生が応募し、その中で書類選考を通過したものが本選発表に進むことができます。熊本県からは本校のみが「植物の細胞分裂にアロマの香りは影響するのか」というテーマでスライド発表に選ばれました。また、ポスター発表では熊本県では本校と済々黉高校が1組ずつ選ばれ、「廃棄されているワインの搾り滓で歯磨き粉を作る」というテーマで発表を行いました。他校生の発表や研究内容のレベルの高さに驚きつつも自分たちの取り組みについて様々なアドバイスをもらい、さらに研究を深めるきっかけになりました。また他校の高校生と意見交換や交流することができ、いい経験になりました。



(プレゼンテーションをする生徒)



(ポスターセッションをする生徒)